

## 応用化学科 ディプロマ・ポリシー

応用化学科では、工学部ディプロマ・ポリシーに基づき、専門学術の基礎と実践力を継承できるよう、学科として下記に掲げる能力を備えていると判断できる学生に対して卒業を認定する。

- (A) 人文社会科学と自然科学に関する幅広い教養を身につけ、広い視点で化学技術力を発揮できる。〔幅広い教養と応用力〕
- (B) 化学の基礎から応用まで体系的に理解し、多様な化学現象の本質を説明できる。〔化学の専門知識の修得力〕
- (C) 化学実験や演習により修得した問題解決能力をもとに、社会の要求や課題に対して他者と協働して取り組むことができる。〔他者との協働性と課題解決能力〕
- (D) 持続的な社会の維持・発展に向けて、地球環境に配慮した化学技術について考え、化学技術者としての使命感や倫理観をもって行動できる。〔化学技術者としての使命感・倫理観と実践力〕
- (E) 化学技術の基礎と応用を継続して学修し、化学物質や化学プロセスが潜在的にもつ危険性や環境への負荷を認識し、これらを予防するための手段を考え、適切な対処法を提案することができる。〔継続的な学修力とケミカルハザード・リスクへの対応力〕
- (F) 化学の専門知識と技術力をもとに、自らの考えを論理的に表現し、他者との相互理解のもとで議論することができる。〔化学の専門知識を基盤としたコミュニケーション能力〕
- (G) 情報技術を活用して、自らの意見や成果を発信できる。〔情報技術を活用した発信力〕